



海上保安制度創設60周年記念

問い合わせ先
海上保安庁交通部 おの ゆうじ
企画課補佐 小野 有司
電話 03-3591-6361(内線 6102)
又は 03-3591-5650(夜間直通)

平成20年10月8日
海上保安庁

VTS に関する公開シンポジウムの開催について

VTS (Vessel Traffic Service) とは、海上交通センターが行う船舶への情報提供及び航路を通航する船舶を管制する業務です。

海上保安庁は、この度、海洋政策研究財団の海外交流事業として諸外国の専門家を招聘し、各国の VTS 現状と展望を紹介する公開シンポジウムを開催します。

1 公開シンポジウム

(1) 経緯

海上交通センターでは、船舶交通がふくそうする海域や狭水道等厳しい航行環境の海域において、船舶の安全航行と効率性の向上を目的に、同センターの管制官が海域状況及び船舶動静を把握して、航路管制、船舶に対して気象や工事状況、航路制限などの情報提供を一元的に実施しています。

近年の e-Navigation 構想の実現に向け、船舶の安全航行を確保するため、きめ細かな情報提供の重要性が増しています。また、AIS の進展により船舶動静が把握でき、沿岸国における環境保護の観点から、世界的に新たな VTS のあり方、管制官の権限の見直しについて議論が活発化しているところです。

海上保安庁は、昨年の「e-Navigation に関する公開シンポジウム」に続き、諸外国の専門家を招聘し、各国の VTS の現状と展望について紹介する「VTS に関する公開シンポジウム」を開催します。

(2) 開催日・場所

10月29日(水) 海洋政策研究財団 10階会議室
東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル(地図参照)

(3) 講演時間

13:10 ~ 受付開始
13:30 ~ 17:30 V T S に関する公開シンポジウム

(4) 招聘国

米国、英国、シンガポール

- * 一般の方も聴講できます。聴講希望の方は、10月22日(水)午後5時までに海上保安庁交通部企画課 TEL 03 - 3591 - 6361 (内線6102 担当小野) 又は kotsukikaku-i7gv@kaiho.mlit.go.jp へ、ご連絡願います。

2 取材について

取材希望の方は、10月22日(水) 午後5時までに、海上保安庁交通部企画課 小野 (TEL 03-3591-6361 内線6102) まで、ご連絡願います。

3 その他

海上保安庁では、10月29日から10月31日の間、上記公開シンポジウムの他、「VTSに関する国際動向について」VTS専門家と討議を行います。

時刻 (自)	時刻 (至)	講演タイトル	講演者/所属
1310	1330	受付	
1330	1340	開会挨拶	秋本 茂雄 海上保安庁交通部企画課 企画調査室長
1340	1440	“VTS in the UK ” 「英国におけるVTS」	Captain Terry Hughes 英国 VTS コンサルタント、管制官の教育の権威 IALA・VTS委員会の要職を務めている。 英国王立航海学会会員であり、LPGタンカー などの船長経験あり。
1440	1530	“VTS in the United States: Status, Current Issues and Future Developments ” 「米国のVTS:現状、最近の動向、 将来について」	Commander Brian James Tetreault 米国沿岸警備隊 VTS担当課長補佐 IALA VTS委員会の米国代表委員、米国沿岸警 備隊大学校卒業、船長資格取得
1530	1545	休憩	
1545	1630	“Safe Navigation in the Singapore Straits ” 「シンガポール海峡の安全航行につ いて」	Captain Kevin Kar weng Wong シンガポール海事港湾庁海上交通管理訓練担 当課長補佐、船員資格取得
1630	1715	「船舶通航業務シミュレーター向け Soar 技術について - 各船舶のリ アルな動きと省力化 - 」	大貫 智 三井物産エアロスペース株式会社 エンジン・特機部特機室
1715	1730	質疑応答	

海洋船舶ビル(港区虎ノ門1-15-16)の地図



最寄り駅
地下鉄銀座線 虎ノ門駅
(4番出口)より徒歩1分

10月29日13:30~
海洋政策研究財団
10階会議室